

MRワクチン接種率 向上への取り組み

社団法人 松戸市医師会
会長 岡 進

- ◆平成18年4月から1歳児と5歳児（次年度小学校入学の幼児）に麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）を接種することになりました。
- ◆1歳児は疾病で小児科を受診する機会が多いので、各主治医がMRワクチンの接種勧奨ができます。
- ◆第2期の接種勧奨は幼稚園・保育所での接種勧奨が必要です。
- ◆毎年10月中旬から就学児童の健康診査が小学校で実施されます。
松戸市医師会は、就学時健診で第2期MRワクチンの接種確認・未接種者への学校での接種勧奨が効果的と考え、製薬会社のMRワクチン接種勧奨のポスターを200枚入手し、小学校・保育所に配布しました。
（毎年実施しております）

麻しん風しん混合ワクチン (MRワクチン)を接種しましょう!

国立病院機構 三重病院 名誉院長 神谷 貴 先生

1歳に
なったら、
早めに!



就学前にも
忘れずに!

Q. 麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)の接種時期は?
A. 第1期と第2期に1回ずつ、計2回接種します。

(MRワクチンスケジュール)

第1期		第2期	
年齢	12カ月 ← 24カ月	幼稚園・保育園	小学校
	1回	1回	1回

※1歳前には麻しんまたは風しんの混合ワクチンで接種したことが必要です。
※麻しん風しん混合ワクチンに含められていないことが確認された場合は、麻しん風しん混合ワクチンに含められていない成分のワクチンも接種します。
※2歳以降は、医師の指示に従ってください。

◆松戸市教育委員会に
就学時健診で第2期MRワクチン接種の確認を
要請しました。

⇒「保護者あての案内葉書に罹患歴・予防接種
の調査項目がありますので、各学校で把握
できます」との回答。

⇒ 17年度と同じ葉書のため、MRワクチンは
欠落していました。

⇒ 19年度はMRワクチンの記載は入りましたが、
最下段で目立ちませんでした。

平成18年度使用

就学時健康診断予備調査票

入学児童名

既往症（今までかかった病気・何才頃）
-有無、請求のいずれかに○印をつけて下さい。

疾病名	有	無	備考	予防接種	済	未
流行性下痢疾(はよくかぜ)				DPT (三種混合) 又はDT (二種混合)		
麻疹(はしか)				日本脳炎		
水痘(みずぼうそう)				ポリオ(小児マヒ)		
その他				麻疹(はしか)		
ひきつけ				風しん		
腎臓病				おたふくかぜ		
ぜんそく				水痘		
リウマチ熱				最終ツベルクリン反応 結果：陽性 陰性 (+) (-) 才		
食餌性 薬品性 皮膚 関節炎				最終BCG接種		
心臓病				母子健康手帳等を参考の上この 調査票に記入してください。		
その他				※内科健診がありますので書脱 しやすい願装をお願いします。		
言語障害				※終了時期は児童数の関係で学 校により異なります。		
視力障害				※車での乗車は、付添人及びお 子様の主理をご用意ください。		
聴覚障害				※当日欠席する場合は、指定校 以外の学校に入学予定の方も 必ず学校に連絡してください。		
その他				※車での乗車はご用意ください。		

既往症その他で連絡が必要と思われる場合は学校に申し出て下さい。

当日欠席する場合は、指定校以外の学校に入学予定の方も必ず学校に連絡して下さい。また、ご乗車の際は、付添人及びお子様の上履をご用意下さい。

※入学通知書は12月上旬に発送します。

松江市教育委員会 学校教育担当保健体育課 電話 (366) 7459

平成20年度使用

就学時健康診断予備調査票

入学児童名

母子健康手帳等を参考の上この調査票に記入してください。
今までにかかった病気や受けた予防接種などについて、表の
有無や請求のいずれかに○印をつけて下さい。

疾病名	有	無	備考	予防接種	済	未
流行性下痢疾(はよくかぜ)				麻疹・風しん 混合(MR二期)		
麻疹(はしか)				DPT(三種混合) 又はDT(二種混合)		
水痘(みずぼうそう)				はむT(一種混合)		
その他				日本脳炎		
ひきつけ				ポリオ(小児マヒ)		
腎臓病				麻疹(はしか)		
ぜんそく				風しん		
リウマチ熱				最終ツベルクリン反応 結果：陽性 陰性 (+) (-) 才		
食餌性 薬品性 皮膚 関節炎				最終BCG接種		
心臓病				母子健康手帳等を参考の上この 調査票に記入してください。		
その他				※内科健診がありますので書脱 しやすい願装をお願いします。		
言語障害				※終了時期は児童数の関係で学 校により異なります。		
視力障害				※車での乗車は、付添人及びお 子様の主理をご用意ください。		
聴覚障害				※当日欠席する場合は、指定校 以外の学校に入学予定の方も 必ず学校に連絡してください。		
その他				※車での乗車はご用意ください。		

既往症その他で連絡が必要と思われる場合は学校に申し出て下さい。

※入学通知書は12月上旬に発送します。

松江市教育委員会 学校教育担当保健体育課 電話 (366) 7459

平成20年度の就学時健診でMRワクチンの接種の有無を確認し、未接種者には早急に接種を勧奨、入学説明会で再度確認、接種勧奨するよう文書で要請しました。

校長から保護者にMRワクチンの必要性を説明するよう要請しました。

⇒「校医さんがして欲しい」との回答

◆平成20年度は、市内44の市立小学校の就学時健診会場で、健診に出動の学校医(24校)と保健福祉課職員(20校)が手分けして、保護者にMRワクチンの必要性を説明しました。

◆校医が説明した20校には1ヵ月後の入学説明会で、保健福祉課職員が再度説明しました。

松戸市の第2期のMRワクチン接種率

18年度は千葉県内で下から5位

19年度は56市町村中21位と低迷しておりましたが、平成20年度の接種率は**94.3%**になりました。

本年度も口答で就学時健診での説明の依頼がありましたので、文書での要請を要求しましたところ、「教育委員会の仕事でないものに対して、文書は出せない」との回答があり、保健福祉課との連名の文書提出も拒否されました。

問題点

学校関係者にMRワクチンの重要性を何度話しても

- ・それは幼稚園・保育所の仕事です。
- ・就学児童はまだ学校に入っていないので学校の管理下にはないので勧奨はできません。

◆平成20年度から中学1年生と高校3年生に相当する者にMRワクチンの接種を実施することになりました。

◆松戸市保健福祉課では、19年度中に教育関係者(校長会・養護教諭部会)に十分説明し、協力を求めました。

◆松戸市では、学校現場で未接種者の把握が容易にできるように、

- ①: 予診票に学校名の欄を設けました。
- ②: 第3・4期の接種者には接種済み証明書を渡し、担任教諭に提出させました。

<往診接種企画>

- ◆千葉市内で夜間部を持つ高校の校長先生から、千葉市医師会に「夜間部の生徒は就労している者が多く、昼間医療機関に行けないので何とか学校で接種して欲しい」との要請があり、厚労省に確認の上、往診接種を実施したことを県医師会の公衆衛生担当理事から伝えられました。

- ◆「一人でも多くの生徒に接種したい。医師会の協力が得られるなら実施は可能である。」との返事があり、早速準備に取り掛かりました。
- ◆教育委員会保健体育課も新聞報道でこの事実を既に承知していました。

- ◆校長会会長・副会長、養護教諭部会会長・副会長と面会し、文書で手順を説明、各中学校で接種を希望するか否かの確認を要請しました。
- ◆1月末時点で「高校3年生は授業が終了していて、卒業式まで生徒が揃って登校する日はない。」と判明し高校生への接種は断念しました。
- ◆市立中学20校で実施することで出勤医の確保を行うため、各中学校の校医で個別予防接種受託医療機関の医師に協力依頼し、確保できない場合は集団予防接種(ポリオ)協力医に依頼することといたしました。

養護教諭 各位

平成20年4月から実施されている中・高校生に対するMRワクチンの接種率が低迷しています。予防接種法に定められた接種期限の70日を切りました。過日説明しましたとおり、未接種生徒は今後、上級学校で様々なハンディキャップを背負うこととなります。松戸市医師会は緊急措置として医師を各学校に派遣し、往診による個別接種を計画いたしました。

既に、千葉市の県立高校で実施されました。生徒の健康維持を職務としている皆様には、MRワクチン接種の重要性を認識し、積極的な協力を要請する次第であります。

記

- 1 : 医師会作成の保護者宛説明文を未接種生徒の保護者に通達。
- 2 : 希望者からは、必要事項を記入した予診票・同意書・母子健康手帳を提出してもらう。
- 3 : 提出された書類に記入もれがないか確認。(別紙参照)
※13才未満の生徒はDT・日本脳炎の接種期限が重なりますので、接種日まで7日以上空いているか確認してください。
- 4 : 接種済み証明書に生徒の氏名のみを記載してください。
- 5 : 予診票・同意書・接種済み証明書の3部をまとめてください。
- 6 : 協力医に希望者の人数を伝え、接種日を打ち合わせる。
- 7 : 接種医は原則として校医で個別予防接種受託医になりますが、都合が付かない場合は医師会推薦の医師になります。
- 8 : 接種は保健室で実施します。
- 9 : 看護師は医師が帯同する予定です。養護教諭は生徒の誘導・待機に協力していただきます。

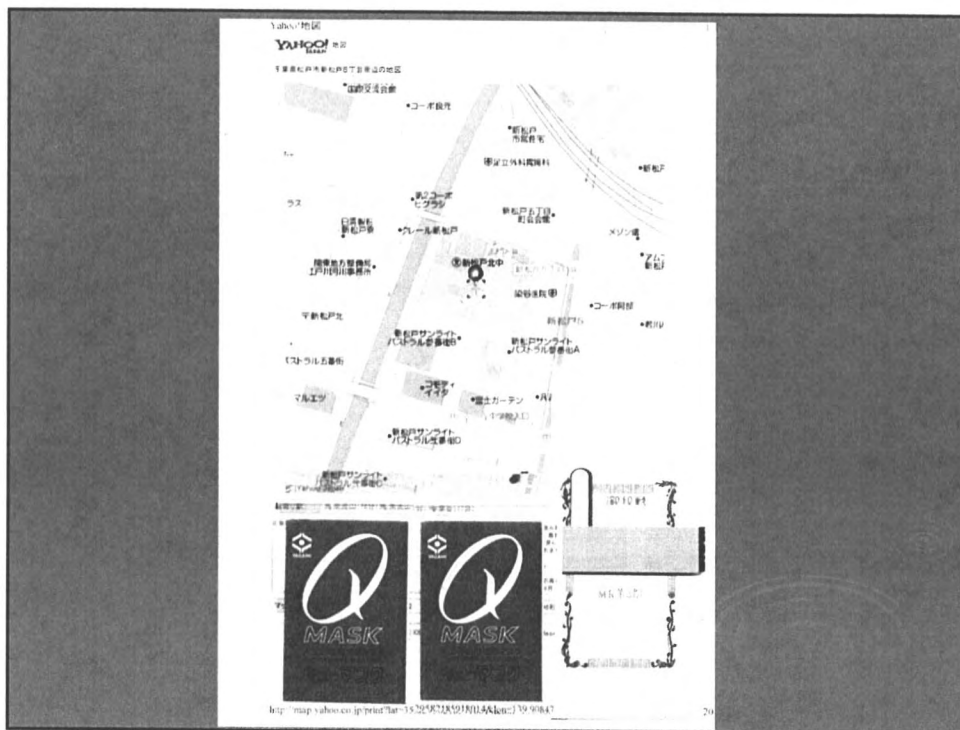
以上

<出動準備>

- ◆各中学校の接種希望日と希望者数の集計が教育委員会から報告される。
- ◆ある中学校の希望者が特別多いので再確認を求めると、「教育委員会は関与しない」との返答。医師会事務局で再確認する。
- ◆2月中旬には20校全ての希望者数が確定し、実施段階に移る。
- ◆20名の協力医も確保できました。

①： 出勤協力医には養護教諭から打ち合わせの電話が入る旨を伝え、下記の用具を1組にして配付。

- ・ 接種手順と注意事項の文書
(学校側の協力は期待できない為看護師を帯同し、注射器・ゴミ等を持ち帰ることなどを記載)
- ・ 学校の電話番号・養護教諭名・希望日・希望人数
- ・ 「MR第3期」のゴム印、人工呼吸用携帯マスク×2
- ・ 差し替え用予診票・接種済み証明書
- ・ 当該学校周辺の地図・校舎の見取り図
(学校側は提出を拒否)



中学校 MRワクチン 日程・接種数一覧表

			希望人数	確 定						合計人数
				接種日	人数	接種日	人数	接種日	人数	
丸山 幸造	丸山内科医院	第一中学校	32	3月6日	18	3月13日	17			35
皆川 孝子	皆川医院	第二中学校	29	3月23日	24					24
西川 弘	西川内科医院	第三中学校	61	3月10日	23	3月13日	23			46
山口 卓秀	山口内科クリニック	第四中学校	34	3月13日	30					30
柳澤 正敏	柳澤医院	第五中学校	27	3月9日	26					26
丸山 博	松戸クリニック	第六中学校	85	3月5日	74					74
池亀 卯女	池亀小児科医院	常盤平中学校	46	3月13日	21	3月16日	16			37
高江 四郎	高江医院	鷹ヶ沢中学校	19	3月4日	16					16
古幡 憲郎	古幡医院	六実中学校	43	3月17日	23	3月19日	18			41
原田 務	はらだ小児科	小金南中学校	28	3月10日	18	3月13日	8			26
杉木 秀高	とちき内科循環器科	古ヶ崎中学校	21	3月16日	8	3月17日	8			16
小川 正壽	牧の原クリニック	牧野原中学校	21	3月6日	20					20
後藤 林八	後藤医院	河原塚中学校	24	3月16日	9	3月18日	12			21
北原 鐘	北原整形外科	根木内中学校	26	3月4日	7	3月6日	6	3月16日	8	21
熊谷 哲夫	熊谷内科	新松戸南中学校	27	3月10日	11	3月13日	16			27
久保田 實良	久保田医院	金ヶ作中学校	22	3月10日	19					19
岡 達	岡屋婦人科総合クリニック	新松戸北中学校	46	3月5日	20	3月16日	21			41
皆川 孝子	皆川医院	和名ヶ谷中学校	21	3月13日	11	3月16日	9			20
和座 一弘	わざクリニック	旭町中学校	15	3月13日	13					13
三浦 聡雄	新松戸診療所	小金北中学校	23	3月16日	21					21
計			650		412		154		8	574

松戸市消防局 消防救急課 御中

本日 中学校で下記要領にて
MR ワクチン接種が実施されます。緊急事態
発生時は宜しく願ひ申し上げます。

日時： 月 日
午後 時 分 ~ 時 分
場所： 中学校・(保健室・体育館)
接種予定人数： 名
出勤医： 先生

中学校校長

*松戸市消防局 消防救急課(FAX 363-1138)まで
FAXをお願いいたします。

接種終了報告

月 日 時より実施されました
MR ワクチン接種は 時に無事終了
いたしました。
ご協力ありがとうございました。

中学校校長

*松戸市消防局 消防救急課(FAX 363-1138)まで
FAXをお願いいたします。

- ②：養護教諭には出勤医の氏名・医院名・電話番号を伝え、医師と打ち合わせするよう依頼。合わせて接種当日に消防局への「事前連絡」と「終了報告」のFAX用文書を配布。

※ 医師会としては養護教諭から出勤医師に連絡が入らない限り、出勤しない旨を伝える。

※ 全校一斉に同じことができないことは行政的に困ると見えて、この時は教育委員会が出動医リストをもとに調整を実施。

(後日のアンケートでは養護教諭が連絡した学校が多かったようです)

※ 校長会会長(現教育長)の「教育委員会が積極的に関与すべきである。」との発言が効を奏したようです。

<医師会内の反対意見>

教育委員会との折衝に全勢力を傾注していた為、会員への説明が疎かになり、各中学校からの接種希望者の数が出揃ったところで、会員の一部に実質的集団接種に反対の声が聞かれました。

曰く

- ①：個別接種の流れに逆行する実質的集団接種である。
- ②：厚労省・県の許可を得ているのか？
- ③：緊急時の設備のない保健室・体育館での接種に反対。
- ④：万が一酸素吸入が必要になったら如何するのか？
- ⑤：全国的に接種率が低迷している中で、松戸市だけ危険を冒す必要があるのか？
- ⑥：出勤医に補償はあるのか？ など

公衆衛生委員会で「学校関係者にMRワクチンの重要性を認識させる為のデモンストレーションと位置付け、今年度限りの特例措置として認める。」との決定を得ました。

<接種実施>

- ①：3月4日から19名の医師で20校、述べ32回の接種が実施されました。
- ②：医師1名・看護師1名の出勤計画でしたが、医師1人で3回出勤された方から医師1名・看護師2名・事務職員2名で出勤された方もあります。
- ③：1中学校での接種人数は、最多74名、最少13名延べ**574名**でした。松戸市立中学校のMR第3期対象者は3,644名であり、接種率にして約**15.8%**に相当します。
最終的に松戸市立中学校のMR第3期の接種者は、**3,303名・接種率90.6%**でした。

* 松戸市全体のMR第3期対象者は**4,290名**で、
接種者**3,911名**、接種率**91.2%**(内往診**13.4%**)でした。

MRワクチン接種率順位(平成20年4月～平成21年3月)

中学校No.	対象者数 1年生の数	〔平成20年12月末〕			《最終接種率》			出勤医評価 ランキング	接種数計	接種率(%)	—往診	本当の 話
		接種者数	接種率(%)	往診接種(3/4～3/23)	接種数	接種率(%)						
				接種数	接種率(%)							
1	9	137	86	62.8	16	11.7	7	137	100.0	0.0		
2	16	222	152	68.5	27	12.2	9	215	96.8	84.6		
3	5	122	56	45.9	26	21.3		118	96.7	75.4		
4	11	207	99	47.8	26	12.6	13	200	96.6	84.0		
5	12	111	67	60.4	16	14.4	2	107	96.4	82.0		
6	4	267	145	54.3	30	11.2	6	252	94.4	83.2		
7	14	153	100	65.4	21	13.7	2	143	93.5	79.8		
8	1	292	147	50.3	35	12.0	7	270	92.5	80.5		
9	18	204	103	50.5	41	20.1	2	188	92.2	72.1		
10	15	123	77	62.6	21	17.1	17	113	91.9	74.8	※3	
11	2	184	79	42.9	24	13.0	16	168	91.3	78.3	※1・2	
12	3	204	86	42.2	46	22.5	18	186	91.2	68.7	※4	
13	13	145	98	67.6	20	13.8	15	132	91.0	77.2		
14	17	94	41	43.6	19	20.2	18	85	90.4	70.2		
15	8	247	137	55.5	37	15.0	12	223	90.3	75.3		
16	21	125	67	53.6	21	16.8	9	112	89.6	72.8		
17	6	274	126	46.0	74	27.0	5	242	88.3	61.3	※5	
18	20	89	48	53.9	13	14.6	9	78	87.6	73.0		
19	10	256	131	51.2	41	16.0	14	193	75.4	59.4		
20	19	188	94	50.0	20	10.6	18	141	75.0	64.4		
中学校 計		3,644	1,939	53.2	574	15.8		3,303	90.6	74.8		

健康福祉センター(保健所)	ワクチンの種類	MR (1期)			MR (2期)			MR (3期)			MR (4期)		
		対象者数	実施者数	接種率	対象者数	実施者数	接種率	対象者数	実施者数	接種率	対象者数	実施者数	接種率
千葉市	千葉市	8,410	8,258	98.2	9,160	8,564	93.5	8,841	7,383	83.5	8,533	6,016	70.5
船橋市	船橋市	5,641	5,433	96.3	5,404	5,059	93.6	5,127	4,105	80.1	4,857	3,327	68.5
柏市	柏市	3,540	3,371	95.2	3,624	3,306	91.2	3,626	3,248	89.6	3,489	2,555	73.2
習志野市	習志野市	1,449	1,437	99.2	1,596	1,519	95.2	1,470	1,418	96.5	1,432	1,087	75.9
	八千代市	1,866	1,799	96.4	2,026	1,939	95.7	1,862	1,598	85.8	1,652	1,196	72.4
	鎌ヶ谷市	891	846	94.9	980	894	91.2	976	878	90.0	966	768	79.5
市川市	市川市	4,510	4,377	97.1	4,176	3,584	85.8	3,756	3,288	87.5	3,729	2,671	71.6
	浦安市	1,710	1,536	89.8	1,874	1,808	96.5	1,584	1,210	76.4	1,318	898	68.1
松戸市	松戸市	4,192	3,909	93.2	4,312	4,066	94.3	4,290	3,911	91.2	4,062	2,828	69.6
	流山市	1,486	1,511	101.7	1,434	1,287	89.7	1,441	1,258	87.3	1,430	1,092	76.4
	我孫子市	1,196	1,140	95.3	1,255	1,236	98.5	1,212	1,120	92.4	1,117	900	80.6
野田市	野田市	1,268	1,143	90.1	1,384	1,178	85.1	1,432	1,132	79.1	1,447	1,069	73.9

MRワクチン往診接種評価表

医師名

出勤日	月 日		月 日		計				
	優	良	不可	優		良	不可		
長種教師の事前連絡									
接種当日の事前連絡									
学校での案内									
問診票の事前チェック									
チェック不良の数									小計
接種人数									
	優	良	不可	優	良	不可			計
接種場所の設定									
接種のやり易さ									
生徒の誘導									
接種終了後の対応									小計
	優	良	不在	優	良	不在			計
校長の協力姿勢									
長種教師の協力姿勢									
担任教師の協力姿勢									小計
今後の往診接種	協力する		協力できない						
その他意見									
	有	無	有	有					計
消防署への事前連絡									
接種終了連絡									
	合 計								

< 出動後の感想 >

- ◆ 私の出動した中学校では、女子と男子に接種日を分けて実施。
- ◆ ワクチンは全て同じロットのものを納品させました。
看護師1名・事務職員1名を帯同。
生徒の流れを一方通行にしたので女子20名・45分
男子21名・25分で接種できました。
- ◆ 注射器やゴミを入れる袋も準備して、接種終了と同時に後片付けも終了しました。
- ◆ 接種後生徒を約30分その場に待機させ「異常なし」を確認して解散しました。
養護教諭と担任教諭1名も最後まで同席しました。

この学校では

- ① : 養護教諭は1年生のMR接種歴や麻しん罹患歴を細かく把握していました。
- ② : 養護教諭曰く「部活に熱心な子供達です」
⇒ 部活の責任者を教育する必要があります。
- ③ : 中学1年生は素直で実際の接種に際して、何の問題も感じませんでした。計画当初、学校関係者が口にした接種勧奨ができない理由は杞憂と思われそうです。
- ④ : 学校関係者の麻しんに対する認識の甘さ
(子供の頃罹ったけれど大した事はなかった。)が最大の原因と思われそうです。

＜嘘のような本当の話＞

- ①：予防接種のガイドラインは法律ではないので強制力はない。
- ②：接種しない生徒に名指しで勧奨するのは、個人情報上問題があり学校現場ではできない。
- ③：就学時健診・入学説明会にきている幼児はまだ入学していないので、学校の管理下ではないので積極的な勧奨はできない。
- ④：未接種者の把握はしている。
調査結果は渡すので、接種勧奨は保健福祉課の仕事である。

- ⑤：医師から学校に連絡すると聞いた養護教諭から連絡を取る意思はない。〔※1〕
- ⑥：消防局へのファックス連絡などできない。〔※2〕
- ⑦：〇〇中学校には体温計は1本もありません。〔※3〕
- ⑧：当初の申し込み数と実施数が大幅に違う学校があり、ワクチンを準備した医師にご迷惑をかけました。

総申し込み数：650人

実 施 数：574人

残 数：76本

残が多い学校：15本〔※4〕

11本〔※5〕

<感想>

1件でも健康被害が発生すれば今後のMRワクチン接種に逆効果が生じることを危惧していましたが、幸い無事終了いたしました。

厚労省・文科省が「学校で繰り返し接種勧奨する」よう指導している予防接種の実施に、これほどの努力が必要とは思いませんでした。

平成6年に殆どの予防接種が集団接種から個別予防接種が原則になり、平成15年から学校でのツベルクリン検査・BCG接種がなくなり、学校関係者は子供たちの予防接種に関与しなくなって6年経過し、予防接種は学校とは全く関係ないとの認識が生じてしまいました。

- ◆本年度は、中学校への往診接種の予定はありません。
- ◆保健体育課・養護教諭の積極的関与が全く期待できません。
- ◆「無駄な仕事が増える」との声が聞こえてきます。

<私の提案>

- ①：接種率95%に達した学校を公表し、厚生労働大臣から表彰状を送る。
- ②：本年の共通一次試験の願書提出時にMRワクチンの接種済証明書の添付を求める。
- ③：平成22年以降の公立高校の入学願書には、MRワクチン接種済証明書の添付を求める。





大阪府富田林市における 麻疹ワクチン接種率向上 への取り組み

富田林医師会 感染症対策委員会
委員長 藤岡 雅 司

2009-9-9
第4回麻疹対策推進会議
厚生労働省専用第21会議室



大阪府富田林市

人口 12万人

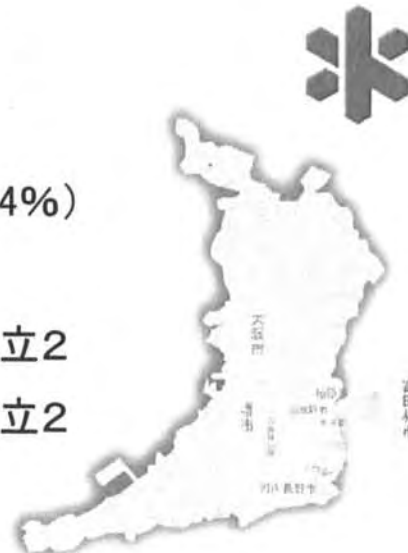
15歳未満 1.7万人 (14%)

中等教育学校

中学校 公立8、私立2

高等学校 公立3、私立2

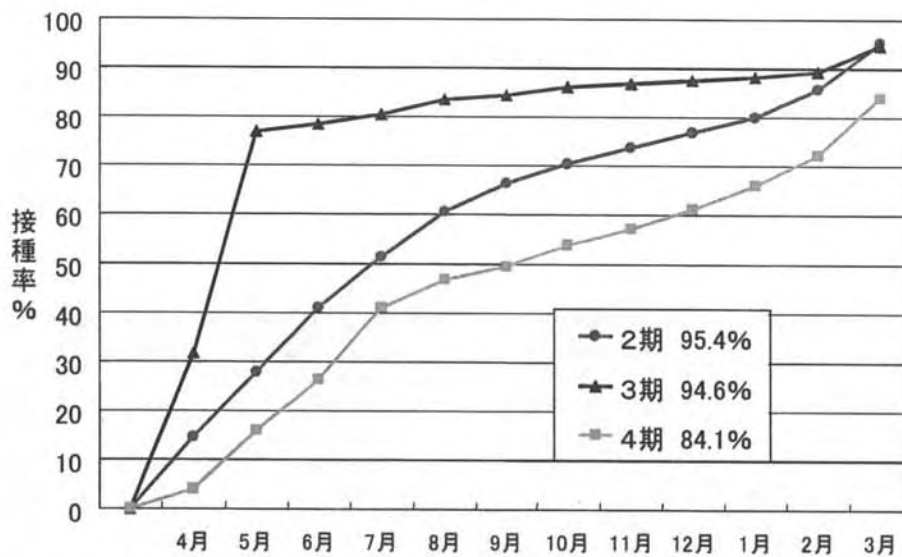
支援学校 公立1



平成20年度麻しんワクチン接種率

	第2期		第3期		第4期	
全国平均		91.8%		85.1%		77.3%
大阪府	44位	88.8%	45位	77.2%	45位	68.1%
富田林市	6位	95.4%	2位	94.6%	2位	84.1%

平成20年度 麻しんワクチン累積接種率



接種率向上への取り組み

- 接種記録の電算化と未接種者の把握
- 郵送、電話による個別勧奨

- ✓ 第3期 公立中学校での集団接種
- ✓ 第4期 公立高等学校での集団接種
- ✓ 第3、4期 保健センターでの休日集団接種
- ✓ 第2期 早期接種者への文具券配布
- ✓ 第1～4期 未接種者への行政措置接種

取り組み その1

第3期

公立中学校での集団接種

麻疹にかかる定期接種

- 1期 1歳の1年間
- 2期 小学校就学前の1年間
- 3期 中学校1年の1年間
- 4期 高校3年相当年齢の1年間

- ・中高生には、「かかりつけ医」がほとんどいない
→医療機関での接種にこだわる必要性が少ない
- ・中高生の生活の場は、主に学校等(授業・クラブ)
→学校等で接種機会の提供が必要
- ・国も「接種を受けやすい環境整備」に配慮
→集団接種の安全基準、保護者同伴要件の緩和

学校における 麻疹 対策ガイドライン

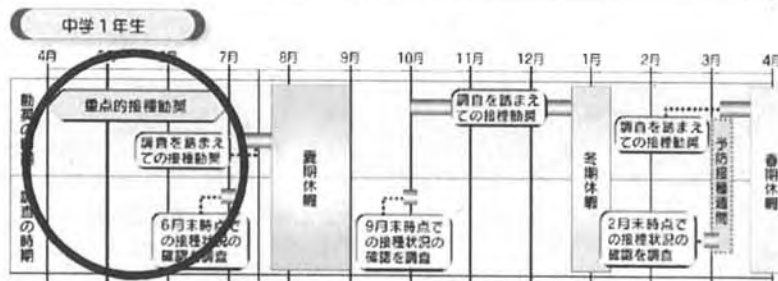
作成 国立感染症研究所感染症情報センター
監修 文部科学省・厚生労働省

積極的勧奨のスケジュール

【中学1年生に対する積極的勧奨】
中学1年生については、その保護者を勧奨の最終的な対象とする。

②可能な限り4～6月中に予防接種を受けるよう勧奨する。
(重点的に接種を勧める期間)

積極的勧奨のスケジュール



各中学校長 様

健康推進部健康づくり推進課長

中学1年生の麻しん風しん集団接種に実施について(依頼)

日頃は、本市予防接種行政の推進にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度から中学1年生を対象とした第3期麻しん風しん予防接種が5年間の期限付きで開始されることになりました。国は麻しん排除計画の接種率として95%以上を目標としております。

高い接種率を達成するためには、中学生が接種を受けやすい機会を提供する必要があります。当市におきましては、各公立中学校において、下記の日程で集団接種を実施したいと存じます。なお、接種にかかる安全確保に万全を期すために、国の定める安全基準を遵守して実施いたします。

つきましては、接種対象者である中学1年生に保護者あての説明書及び予診票等を学校のスケジュールに合わせて配布していただき、接種当日、生徒に保護者の同意欄に署名をした予診票を必ず持参するよう、ご指導をお願いいたします。

お忙しいところご面倒をおかけいたしますが、接種当日は、会場への生徒引率等についてご協力を併せてお願い申し上げます。

とんだばやし

第25回石川大清掃
千早川・佐藤川・宇奈田川でも実施

3月2日、7752人の市民が参加し、2万7281kgのゴミが収集されました。



〒910-1224 石川県小松市千早川町1-1-1
TEL: 076-821-1111 FAX: 076-821-1112
E-MAIL: info@tondabayashi.jp

石川県環境部
石川県環境局
石川県環境センター
石川県環境センター
石川県環境センター

4

■予防接種法の改正により、麻しん風しん予防接種を中学1年生および高校3年生に相当する年齢の人も受けられるようになりました

麻しん(はしか)は人から人へ感染しやすく、予防接種を受けないと多くの人がかかる感染症です。このため、予防接種で未然に防ぐことが重要です。

今まで麻しんワクチンを1回しか受けていない世代の免疫補強を目的に、今年4月から24年度までの5年間に、2回目を受けられるようになりました。

なお、同時に風しん対策も行うため、原則として麻しん・風しん混合(MR)ワクチンを接種します。

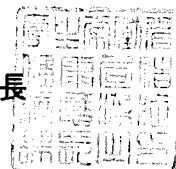
対象者と実施場所

第3期=平成7年4月2日~平成8年4月1日生れの人(中学1年生相当)、公立中学校(指定医療機関でも受けられます)
※私立中学校などへ通学している人は、指定医療機関で個別接種。

健感発0715第2号
平成21年7月15日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



麻疹風しんの第3期・第4期予防接種の促進について

予防接種行政につきましては、日頃よりご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の予防接種につきましては、平成21年度の接種対象者が以下の者となり（第3期：平成8年4月2日～平成9年4月1日に生誕した者、第4期：平成3年4月2日～平成4年4月1日に生誕した者）、あらためて、本接種対象者への情報提供や接種勧奨による接種の促進が必要となっているところです。

当該対象者においては、今後、大部分の者が夏季における休業日の日程下に入ることが見込まれ、授業が実施されている日程下と比べ、時間的猶予の面にて接種を受けやすい環境におかれることから、この機会を利用して、未だ接種を受けていない者については、接種を完了されるよう、市区町村に対して、関係機関と協力の上、積極的な接種勧奨の実施について指導方よろしくお願いいたします。

また、市区町村に対し、「都道府県における麻疹対策ガイドライン」に基づき、麻疹風しんの第3期及び第4期末接種未罹患の者の状況を把握したうえで、その者に対して接種の勧奨を実施するとともに、「麻疹対策の会議」への協力が推進されるよう、周知徹底方よろしくお願いいたします。

なお、関係機関における取り組みに資するよう、自治体における接種勧奨の取組事例等について、国立感染症研究所感染症情報センターの下記ホームページに掲載しておりますので、併せて周知いただきますようお願いいたします。

記

厚生労働省ホームページ

都道府県における麻疹対策会議のガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/dl/080328a.pdf>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

自治体における接種勧奨の取組事例

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/05.html>

接種促進のための教育啓発ツール

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/02.html>



健感発0715第3号
平成21年7月15日

文部科学省スポーツ・青少年局
学校健康教育課長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の促進について（依頼）

予防接種行政につきましては、日頃よりご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の予防接種につきましては、平成21年度の接種対象者が以下の者となり（第3期：平成8年4月2日～平成9年4月1日に生誕した者、第4期：平成3年4月2日～平成4年4月1日に生誕した者）、あらためて、本接種対象者への情報提供や接種勧奨による接種の促進が必要となっているところです。

このため、別添のとおり、各都道府県衛生主管部（局）長あてに第3期・第4期の対象者への積極的勧奨についての通知を発出しました。

当該対象者においては、今後、大部分の者が夏季における休業日の日程下に入ることが見込まれ、授業が実施されている日程下と比べ、時間的猶予の面にて接種を受けやすい環境におかれることから、この機会を利用して、未だ接種を受けていない者については、接種を完了されるよう、関係機関を通じて、積極的な接種勧奨をお願いいたします。

また、貴職より関係機関に対し、「学校における麻しん対策ガイドライン」に基づき、麻しん風しんの第3期及び第4期末接種未罹患の者の状況を把握したうえで、その者に対して接種の勧奨を実施するとともに、都道府県が設置する「麻しん対策の会議」へ学校ごとの接種率が情報提供されるなどの協力が推進されるよう、周知徹底方よろしくお願いいたします。

なお、関係機関における取り組みに資するよう、自治体における接種勧奨の取組事例等について、国立感染症研究所感染症情報センターの下記ホームページに掲載しておりますので、併せて周知いただきますようお願いいたします。

記

厚生労働省ホームページ

都道府県における麻しん対策会議のガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/080328a.pdf>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

自治体における接種勧奨の取組事例

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/05.html>

接種促進のための教育啓発ツール

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/02.html>

21ス学健第10号

平成21年7月16日

附属学校を置く各国立大学長
各国公立高等専門学校長
各都道府県私立学校主管課長 殿
各都道府県教育委員会健康教育主管課長
各指定都市教育委員会健康教育主管課長

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課長

松 川 憲



麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の促進について (依頼)

標記について、別添1のとおり平成21年7月15日付け健感発0715第3号により厚生労働省健康局結核感染症課長から協力依頼がありました。

また、別添2のとおり同課長から各都道府県衛生主管部(局)長あてに「麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の促進について」が発出されています。

学校の設置者及び学校においては、従来から「学校における麻しん対策ガイドライン」(平成20年3月 国立感染症研究所感染情報センター作成 文部科学省・厚生労働省監修)の活用をお願いしているところですが、地域の保健部局等と連携の上、麻しん風しんの第3期・第4期予防接種未接種・未罹患の者の状況を把握した上で、その者に対して、夏期休暇中の接種の勧奨を行うなど、早期の接種が促進されるよう適切な対応をお願いします。

また、都道府県の麻しん対策会議等による接種状況の確認調査が実施される際には、御協力をお願いします。

なお、これらのことについて、都道府県教育委員会においては域内の市区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管課においては所管の私立学校等(専修学校・各種学校を含む)に対して周知していただくとともに、適切な対応がなされるよう御指導についても併せてお願いします。

(参考ホームページ)

○文部科学省ホームページ

「学校における麻疹対策ガイドラインについて」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08040804.htm

○厚生労働省ホームページ

「都道府県における麻疹対策会議のガイドライン」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/080328a.pdf>

○国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

「自治体における接種勧奨の取組事例」

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/05.html>

「接種促進のための教育啓発ツール」

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/02.html>

本件担当

文部科学省スポーツ・青少年局

学校健康教育課 保健指導係

電話 03-6734-2918 (直通)

健感発0715第3号
平成21年7月15日文部科学省スポーツ・青少年局
学校健康教育課長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

麻疹風しんの第3期・第4期予防接種の促進について（依頼）

予防接種行政につきましては、日頃よりご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の予防接種につきましては、平成21年度の接種対象者が以下の者となり（第3期：平成8年4月2日～平成9年4月1日に生誕した者、第4期：平成3年4月2日～平成4年4月1日に生誕した者）、あらためて、本接種対象者への情報提供や接種勧奨による接種の促進が必要となっているところです。

このため、別添のとおり、各都道府県衛生主管部（局）長あてに第3期・第4期の対象者への積極的勧奨についての通知を发出了しました。

当該対象者においては、今後、大部分の者が夏季における休業日の日程下に入ることが見込まれ、授業が実施されている日程下と比べ、時間的猶予の面にて接種を受けやすい環境におかれることから、この機会を利用して、未だ接種を受けていない者については、接種を完了されるよう、関係機関を通じて、積極的な接種勧奨をお願いいたします。

また、貴職より関係機関に対し、「学校における麻疹対策ガイドライン」に基づき、麻疹風しんの第3期及び第4期末接種未罹患の者の状況を把握したうえで、その者に対して接種の勧奨を実施するとともに、都道府県が設置する「麻疹対策の会議」へ学校ごとの接種率が情報提供されるなどの協力が推進されるよう、周知徹底方よろしくお願いいたします。

なお、関係機関における取り組みに資するよう、自治体における接種勧奨の取組事例等について、国立感染症研究所感染症情報センターの下記ホームページに掲載しておりますので、併せて周知いただきますようお願いいたします。

記

厚生労働省ホームページ

都道府県における麻疹対策会議のガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/080328a.pdf>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

自治体における接種勧奨の取組事例

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/05.html>

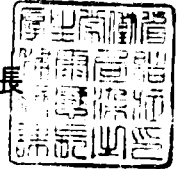
接種促進のための教育啓発ツール

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/02.html>

健感発0715第2号
平成21年7月15日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の促進について

予防接種行政につきましては、日頃よりご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の予防接種につきましては、平成21年度の接種対象者が以下の者となり（第3期：平成8年4月2日～平成9年4月1日に生誕した者、第4期：平成3年4月2日～平成4年4月1日に生誕した者）、あらためて、本接種対象者への情報提供や接種勧奨による接種の促進が必要となっているところです。

当該対象者においては、今後、大部分の者が夏季における休業日の日程下に入ることが見込まれ、授業が実施されている日程下と比べ、時間的猶予の面にて接種を受けやすい環境におかれることから、この機会を利用して、未だ接種を受けていない者については、接種を完了されるよう、市区町村に対して、関係機関と協力の上、積極的な接種勧奨の実施について指導方よろしくお願いいたします。

また、市区町村に対し、「都道府県における麻しん対策ガイドライン」に基づき、麻しん風しんの第3期及び第4期末接種未罹患の者の状況を把握したうえで、その者に対して接種の勧奨を実施するとともに、「麻しん対策の会議」への協力が推進されるよう、周知徹底方よろしくお願いいたします。

なお、関係機関における取り組みに資するよう、自治体における接種勧奨の取組事例等について、国立感染症研究所感染症情報センターの下記ホームページに掲載しておりますので、併せて周知いただきますようお願いいたします。

記

厚生労働省ホームページ

都道府県における麻しん対策会議のガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/dl/080328a.pdf>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

自治体における接種勧奨の取組事例

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/05.html>

接種促進のための教育啓発ツール

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/02.html>

平成 21 年度健康教育行政担当者連絡協議会開催要項

1. 趣 旨

健康教育に関する諸問題について連絡協議し、もって行政の円滑な推進に資する。

2. 主 催

文部科学省

3. 期 間

平成 21 年 6 月 1 日（月）～ 6 月 2 日（火）

4. 会 場

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号

電話番号 03 (3467) 7201 【代表】

5. 対 象

都道府県及び指定都市教育委員会の指導主事、学校保健技師、事務担当係長等。ただし、原則として各教育委員会当たり 5 名以内とする。

6. 日程及び内容（【別記】のとおり）

7. 参加申込み

各都道府県及び指定都市教育委員会は、別紙様式 1 については平成 21 年 5 月 1 日（金）まで、別紙様式 2～7 については平成 21 年 5 月 8 日（金）【必着】までにメール及び郵送にて提出すること。

（提出先）〒100-8959 千代田区霞が関 3-2-2

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課庶務係

メールアドレス：gakkoken@mext.go.jp

8. その他

会場については、申し込み状況等を勘案し、変更の可能性はある。

平成21年度健康教育行政担当者連絡協議会日程

		9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30			
6月1日(月)	受付	全体会 セ417										分科会						
		予算及び叙勲等について 庶務係	学校給食施設、へき地、要保護補助について 助成係	学校保健関係について 保健指導係 保健管理係	学校安全関係について 学校安全係	休憩	食に関する指導等について 調査係	学校給食関係について 学校給食係	労働安全衛生について 企画・健康教育係	質疑応答	休憩	【学校保健関係】 セ309 「保健主事研修プログラムについて」 (担当:森教科調査官)	【学校安全関係】 セ402 「学校安全関係配付資料等の活用について」 (担当:長岡安全教育調査官)	【食育・学校給食関係】 セ102 「改正学校給食法施行と学校給食実施基準及び学校給食衛生管理基準の改訂について」 (担当:田中学校給食調査官、森泉食育調査官)				
6月2日(火)	学校保健	午前の部					午後の部 I					午後の部 II						
		① セ309	「学校保健法及び学校保健法施行規則の改正について」 「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応について」 (担当:采女健康教育調査官)					⑤ セ309	「養護教諭研修プログラム(新規採用研修及び10年経験者研修)について」 (担当:采女健康教育調査官)					⑩ セ309	「保健室経営計画の作成方法について」 (担当:采女健康教育調査官)			
		② セ405	「薬物乱用防止の教育について」 「医薬品の教育について」 (担当:北垣健康教育調査官)					⑥ セ405	「学校環境衛生の基準について」 (担当:北垣健康教育調査官)					/				
	学校安全	③ セ402	「法改正を受けた学校安全の進め方について」 (担当:長岡安全教育調査官)					⑦ セ409	「学校におけるアレルギー対策について」 「生活習慣病対策(がんを含む)について」 (担当:高山専門官)					⑪ セ409	「はしか対策について」 「新型インフルエンザ対策について」 (担当:高山専門官)			
	食育・学校給食	④ セ102	「法改正及び基準の改訂を受けた学校給食管理の進め方について」 (担当:田中学校給食調査官、森泉食育調査官)					⑧ セ402	「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業を始めとする子どもの安全確保のあり方について」 (担当:長岡安全教育調査官)					⑫ セ402	「学校の安全管理に関する取組の向上について」 (担当:長岡安全教育調査官)			
		⑨ セ102	「新学習指導要領と学校における食育の推進について」 (担当:田中学校給食調査官、森泉食育調査官)					⑬ セ102	「学校において食育を推進するに当たっての現状と課題について」 (担当:田中学校給食調査官、森泉食育調査官)									

2

平成21年度
健康教育行政担当者連絡協議会

麻しん

平成21年6月2日

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課

高山 研

Company Name

2008年度予防接種率(小学校入学前1年間)

2008年度

第2期麻しん風しんワクチン接種率

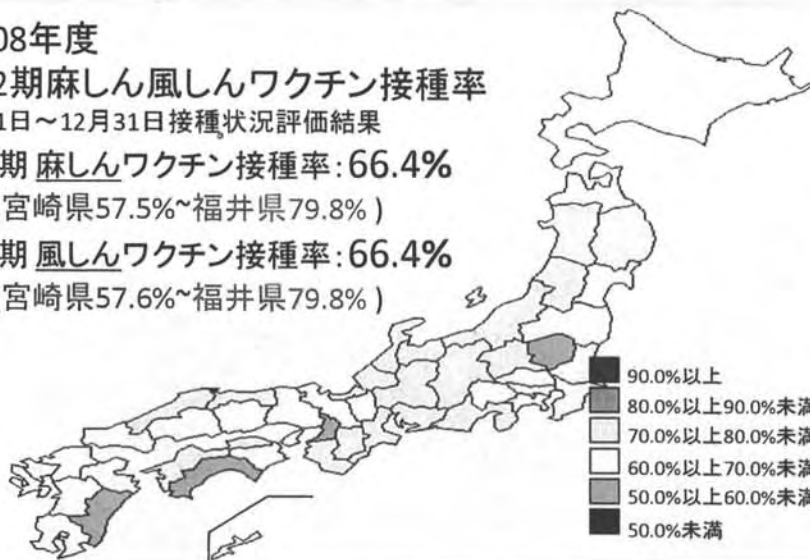
4月1日～12月31日接種状況評価結果

第2期 麻しんワクチン接種率:66.4%

(宮崎県57.5%～福井県79.8%)

第2期 風しんワクチン接種率:66.4%

(宮崎県57.6%～福井県79.8%)



2008年度予防接種率(中学1年生相当)

2008年度

第3期麻しん風しんワクチン接種率

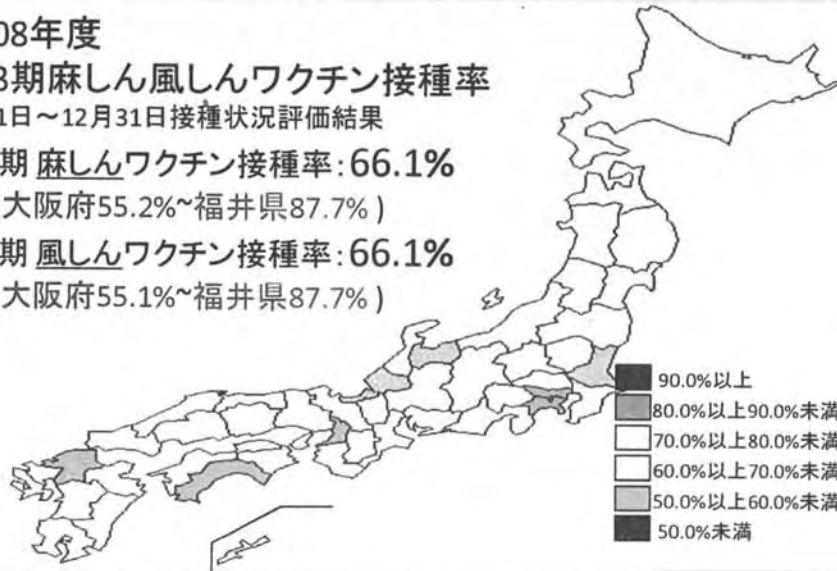
4月1日～12月31日接種状況評価結果

第3期麻しんワクチン接種率:66.1%

(大阪府55.2%～福井県87.7%)

第3期風しんワクチン接種率:66.1%

(大阪府55.1%～福井県87.7%)



2008年度予防接種率(高校3年生相当)

2008年度

第4期麻しん風しんワクチン接種率

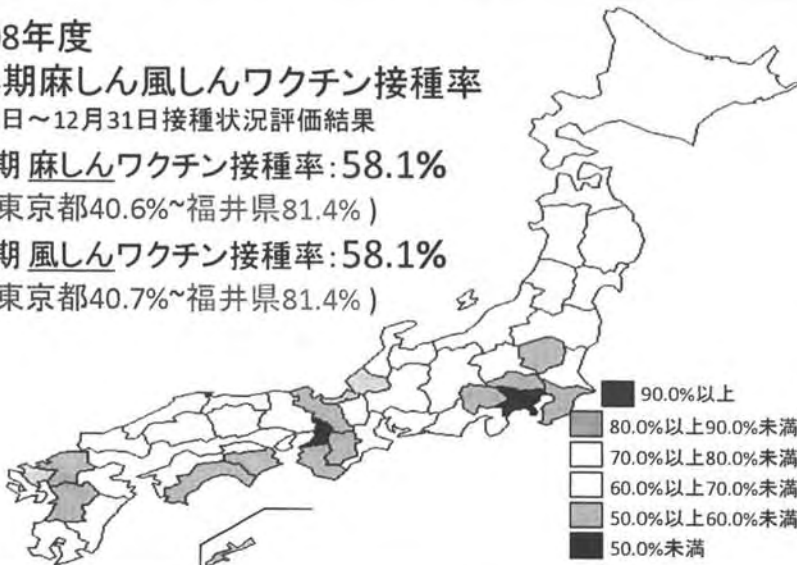
4月1日～12月31日接種状況評価結果

第4期麻しんワクチン接種率:58.1%

(東京都40.6%～福井県81.4%)

第4期風しんワクチン接種率:58.1%

(東京都40.7%～福井県81.4%)



麻しん対策で効果的だったポイント (厚労省調べ、接種率上位の自治体より聴取)

第3期(中学1年生相当)

- 前年度末、年度初め早々の個別通知
- 個別接種のみで対応の自治体の場合
 - ・ 未接種者の把握 ⇒ 個別の勧奨を繰り返し実施
 - ・ 学校からの積極的な複数回の勧奨
 - ・ 学校との十分な連携: 未接種者の把握ができない自治体も学校との十分な連携で対応
- 集団の場を用いた接種の併用
 - ・ 集団接種の場として学校を提供
 - ・ 接種漏れ者には個別の対応で接種を徹底

Company Name

麻しん対策で効果的だったポイント (厚労省調べ、接種率上位の自治体より聴取)

第4期(高校3年生相当)

1. 個別接種での対応が主の場合
 - ・ 未接種者の把握 ⇒ 繰り返しの個別の勧奨(未接種者の把握ができない自治体でも学校との連携で対応)
 - ・ 学校からの繰り返しの勧奨・確認
 - ・ 学校との十分な連携
 - タイミングを逃さない通知(夏休み前、冬休み前、スポーツイベント等)
 - 市と学校が通知のタイミングを同期させ、そのタイミングで接種医療機関が診療曜日・時間を拡大して待機
 - ・ 接種期間の限定(短期集中型の接種)
 - 4~6月のみ、あるいは夏休み期間のみ、日程を指定等
2. 集団の場を用いた接種の併用
接種の場: 保健所・保健センター、医療機関、学校

Company Name

麻しん対策で接種率が上がらなかった自治体の ポイント(厚労省調べ)

第3、4期共通

- **未接種者が把握できていない: 予防接種台帳の未整備**
- **繰り返しの個別通知を行っていない**
 - 財政上の問題で不可能
 - 必要と感じていない
- **市町村担当者の認識不足**
- **学校との連携が不足・困難**
 - 「学校における麻しん対策ガイドライン」が参考にされていない
 - 予防接種は保健行政の仕事であるという学校側の意識
 - 市町村の担当者が、学校との連携の必要性を感じていない

Company Name

2008年麻しん対策総括(厚労省)

- **市町村の実情は、まさに千差万別**
- **接種率の高い自治体は、実情に合わせて様々な工夫をこらし、関係部署とよく連携している**
 - ・自治体: 個別通知 ⇒ 未接種者の把握 ⇒ 未接種者への繰り返しの勧奨(可能な限り、顔の見える勧奨を)
 - ・学校: 顔の見える確認・勧奨の実施場所 ⇒ 学校における流行の抑制に直結する
- **地域の実情に合わせた最大限可能な対応を**
実情に応じて講ずることが必要

Company Name

就学時健診での予防接種歴の確認

平成14年3月29日 スポーツ・青少年局長通知
「学校保健法施行規則の一部改正等について」

別紙1「就学時の健康診断の実施について」

- 第1号様式 就学時健康診断票の「予防接種」の欄
(注)健康診断当日までに受けた予防接種法の規定による定期の予防接種の種別及び接種年月日を記入する
- 事後措置
「予防接種を受けていない者には予防接種を受けるよう指導し、」
→予防接種の勧奨(予防接種法で規定された予防接種は勧奨ができる)

Company Name

麻しん対策まとめ

- 各自治体の保健部局との連携がポイント
- 保健部局からも学校からも未接種者に対して勧奨を行うと効果的(特に4~6月)
- 自治体の実情に応じて、未接種者の把握に御協力を(特に都市部)
- 就学時健診の機会を利用した予防接種歴の確認と未接種の予防接種の勧奨・推奨を(麻しん以外のものを含め)

Company Name

麻しん施設別発生状況（最終報 全施設合計）

累計 H21. 4. 5 - H21. 8. 1

	施設数		休校数		学年閉鎖 学校数		学級閉鎖 学校数		在籍者数		患者数		うち欠席者数	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
根拠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
札幌市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
さいたま市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横濱市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浜松市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
名古屋市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
堺市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神戸市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北九州市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昨年同期 (H20. 4. 6 - H20.	2	123	2	64	0	45	0	14	1,264	72,626	5	583	5	616

- 同一施設で同一週に休校、学年閉鎖、学級閉鎖が重複した場合は、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の優先順位により計上。
- 在籍者数、患者数及び欠席者数（以下「患者数等」という。）は、次により計上。
 - 学級閉鎖を行った場合の患者数等は、当該閉鎖される直前の学級の患者数等である。
 - 学年閉鎖を行った場合の患者数等は、当該閉鎖される直前の学年の患者数等である。
 - 休校の措置がとられた場合の患者数等は、当該休校となる直前の学校の患者数等である。

平成21年度厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業
 「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」

(H21-新興-一般-011)

研究代表者 加藤達夫 国立成育医療センター
 研究分担者 荒川宜親 国立感染症研究所
 浅野喜造 藤田保健衛生大学
 庵原俊昭 国立病院機構三重病院
 岡田賢司 国立病院機構福岡病院

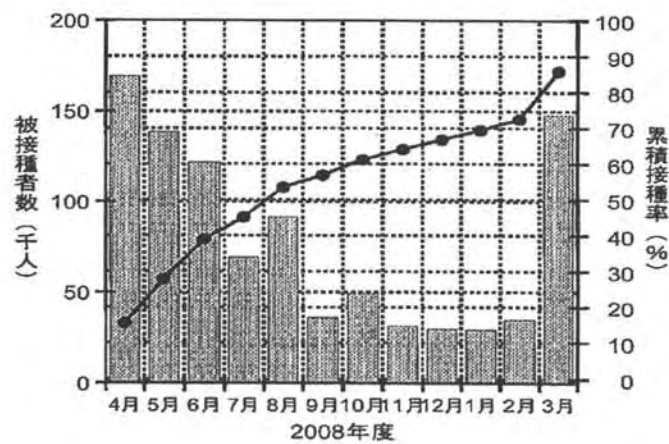


図1. 中学1年生相当年齢者における (MR 3期) 全国 MR ワクチン累積接種率

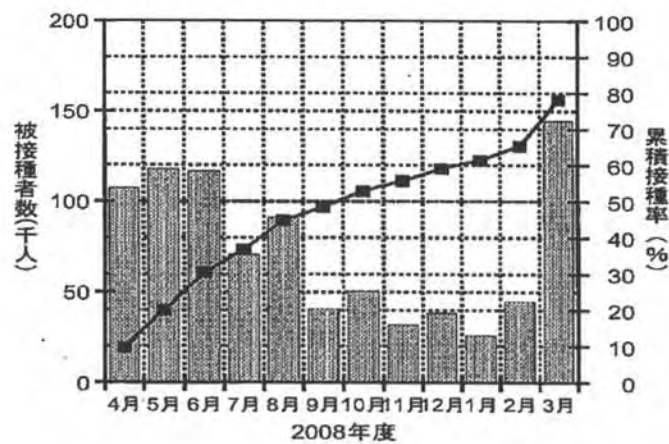


図2. 高校3年生相当年齢者における (MR 4期) 全国 MR ワクチン累積接種率

平成18年～平成20年度厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業

「麻疹・風疹（MR）混合ワクチンの接種効果・安全性・接種率に関する研究」

（H18－新興－一般－005）

研究代表者 加藤達夫 国立成育医療センター
 研究分担者 高山直秀 東京都立駒込病院
 庵原俊昭 国立病院機構三重病院
 岡田賢司 国立病院機構福岡病院
 尾内一信 川崎医科大学

表 2

麻疹・風疹（MR）混合ワクチン 2期
 接種健康状況 1591例調査（%）

接種後健康調査 2006年6月2日～2009年3月31日

接種後 日数	0～6	7～13	14～20	21～28	合計
発赤	135 (8.48)	13 (0.82)	0	1 (0.06)	149 (9.36)
腫脹	100 (6.28)	2 (0.12)	0	1 (0.06)	103 (6.47)
発疹	23 (1.45)	17 (1.11)	4 (0.25)	7 (0.44)	51 (3.20)
リンパ節 腫脹	8 (0.50)	13 (0.82)	4 (0.25)	2 (0.12)	27 (1.70)
関節痛	10 (0.62)	6 (0.38)	5 (0.31)	4 (0.25)	27 (1.70)
発熱	68 (4.27)	64 (4.02)	67 (4.21)	60 (3.78)	259 (16.3)

上段：報告数

下段：発現率

平成18年～平成20年度厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業
 「麻疹・風疹 (MR)混合ワクチンの接種効果・安全性・接種率に関する研究」

(H18-新興-一般-005)

研究代表者 加藤達夫 国立成育医療センター
 研究分担者 高山直秀 東京都立駒込病院
 庵原俊昭 国立病院機構三重病院
 岡田賢司 国立病院機構福岡病院
 尾内一信 川崎医科大学

表3 麻疹・風疹 (MR)混合ワクチン 3期
 接種健康状況 226名調査 (%)

2008年4月1日～2009年3月31日

接種後 日数	0～6	7～13	14～20	21～28	合計
発赤	15 (6.63)	1 (0.44)	0	0	16 (7.07)
腫脹	12 (5.30)	0	0	0	12 (5.30)
発疹	4 (1.76)	1 (0.44)	1 (0.44)	0	6 (2.65)
リンパ節 腫脹	3 (1.32)	1 (0.44)	1 (0.44)	0	5 (2.21)
関節痛	3 (1.32)	0	0	0	3 (1.32)
発熱	1 (0.44)	2 (0.88)	1 (0.44)	3 (1.32)	7 (3.09)

上段：報告数

下段：発現率

平成18年～平成20年度厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業
 「麻疹・風疹 (MR)混合ワクチンの接種効果・安全性・接種率に関する研究」

(H18-新興-一般-005)

研究代表者 加藤達夫 国立成育医療センター
 研究分担者 高山直秀 東京都立駒込病院
 庵原俊昭 国立病院機構三重病院
 岡田賢司 国立病院機構福岡病院
 尾内一信 川崎医科大学

表4 麻疹・風疹 (MR)混合ワクチン 4期
 接種健康状況 76名調査 (%)

2008年4月1日～2009年3月31日

接種後 日数	0～6	7～13	14～2 0	21～28	合計
発赤	6 (7.89)	0	0	0	6 (7.89)
腫脹	3 (3.94)	0	0	0	3 (3.94)
発疹	0	0	0	0	0
リンパ節 腫脹	0	0	0	0	0
関節痛	0	0	0	0	0
発熱	2 (2.63)	2 (2.63)	1 (1.31)	1 (1.31)	6 (7.89)

上段：報告数

下段：発現率